

1. 技術体系の特徴

経営類型	家族労働力	品目・栽培型及び規模	経営・技術の特徴	
輪ぎく専業	3人	秋ぎく11・3月出荷型(2度切り)	15	
		秋ぎく12・4月出荷型(2度切り)	15	
		秋ぎく1・5月出荷型(2度切り)	15	
		秋ぎく2月出荷型	10	
		秋ぎく3月出荷型	10	
		秋ぎく10月出荷型	10	
		秋ぎく11月出荷型	10	
		秋ぎく12月出荷型(短茎多収)	10	
		夏秋ぎく6月出荷型	10	
		夏秋ぎく7月出荷型	15	
		夏秋ぎく8月出荷型	15	
		夏秋ぎく8月出荷型(短茎多収)	10	
		秋ぎく9月出荷型(シード)	15	
計	160			
		経営耕地面積 水田 75 a 畑		
<p>1. 施設面積75aのキク専業。 2. 秋ぎくは「神馬」、夏秋ぎくは「精の一世」。 3. 加温は暖房機とヒートポンプを併用。 4. 省力機器として自走式防除機、灌水同時施肥システム、防虫ネット、自動選花結束機を導入。 5. 定植は、秋ぎく9月出荷型(シード「精の一世」は購入穂使用)を除き、直挿しを導入。 6. 秋ぎく12月出荷と夏秋ぎく8月出荷作型に短茎多収栽培を導入。 7. 11月～翌5月出荷作型は環境制御栽培を導入。 8. 電照栽培としてLEDを使用。 9. 秋ぎく9月出荷作型(シード「精の一世」では、ヒートポンプ使用による夜冷栽培を導入。 10. 常時雇用あり(1名)</p>				
経営目標	1 農業総収入	57,047 千円	4 1日当たり農業所得	13,966 円
	2 農業経営費	46,920 千円	5 1人当たり年間労働時間	2,071 時間
	3 農業所得	10,302 千円		

2. 資本装備と減価償却費

	種類・規模	数量	型式・構造・能力	所有	取得価格	耐用年数	年間償却額
建物・施設	作業場・倉庫	1	鉄骨・100㎡	1	5,456 千円	24年	227 千円
	低コスト耐候性ハウス	3	低コスト耐候性ハウス・1,500㎡	1	109,621	14年	3,915
	連棟補強型(SRH)ハウス	3	連棟補強2型・1000㎡	1	34,864	8年	2,179
	APハウス	2	育苗用・500㎡	1	7,478	8年	467
	防油提・オイルタンク	3	1900k	1	3,472	17年	204
	計				160,891		6,993
農機具	トラクター	1	15ps	1	1,152	7年	82
	土壤消毒機	1	歩行型(管理機付)	1	54	7年	4
	耕耘機	1	7ps	1	642	7年	46
	管理機	1	6.2ps	1	185	7年	13
	動力噴霧機	1	3.1ps	1	138	7年	10
	軽ワゴン	1	660cc	1	1,340	4年	168
	軽トラック	1	660cc	1	917	4年	115
	温風暖房機(煙突セット含む)	6	100,000kcal	1	2,422	7年	173
	冷蔵庫	1	3坪	1	1,056	7年	75
	自動選花結束機	1	下葉取り、重量選別、自動結束	1	7,304	7年	522
	灌水装置	6	コンピュータ制御・電磁弁	1	8,712	7年	622
	自走式防除機	6	1式	1	11,880	7年	849
	ヒートポンプ	9	15aに2台設置、10aに1台設置	1	7,920	7年	566
	循環扇	27	15aに6台、10aに3台(3連棟×4)	1	1,188	7年	85
	防虫ネット	6	1式	1	927	4年	116
	電照設備(LED)	6	1式	1	5,781	7年	413
	環境制御装置	6	1施設に1台	1	10,560	7年	754
	炭酸ガス発生装置	6	10aに1台設置	1	1,742	7年	124
局所施用設備一式	6	1施設に1台	1	3,498	7年	250	
計				67,419		4,986	

3-1. 技術体系

(秋ギク11月・3月出荷型 二度切り栽培)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
採穂		7月		2	8	16		・50,000本採穂
穂冷蔵		7月	冷蔵庫	1	4	4		・2~3℃で冷蔵
定植準備	土壌消毒 耕うん 整地 基肥施用 ネット設置 支柱設置	7月	土壌消毒機 管理機 トラクター 耕うん機	4	13	52	堆肥3t 苦土石灰 100kg フラワーネット 800m 支柱840本	・窒素、リン酸、加里 各15kg ・フラワーネット 13.5cmの5目
定植	直挿し	8月		4	20	80	穂 45,000本	・中1目あけて4条植え、1目に2本植え
べたがけ設置		8月		2	2	4	石灰マルチ	・べたがけ前に灌水を十分行う。
べたがけ除去		8月		2	2	4		・活着後(7~10日)、べたがけを除去する。
電照管理		8月~9月	電照装置	1	2	2	LED 140個	・電球型LEDを使用 ・深夜4時間の電照 ・消灯は定植後50日目を目安とし、 消灯後12~13日目から3日程度の 再電照を行う。
灌水	頭上、地上灌水	8月~11月	灌水同時 施肥システム	1	8	8		
追肥		9月		1	2	2	肥料	・消灯2週間前と2週間後に2回に分けて施用する。 ・窒素、リン酸、加里各6kg×2回施用
		10月		1	2	2		
ピーナイン散布		10月	動力噴霧機	1	6	6		・発蕾期、摘蕾期に各1,000倍液を、 100リットル/10a茎葉上部に散布。
摘芽、摘蕾		10月~11月		4	60	240		
追肥		11月	灌水同時 施肥システム	1	1	1	肥料	・液肥で窒素、リン酸、加里各6kg施用

収穫、出荷		11月	自動選花 結束機 軽トラック	4	44	176		
病虫害防除		8月～11月	自走式防除機、動力噴霧機	1	15	15		県病虫害防除基準による。
株整理		11月		1	16	16		・地際から5cm程度に切り戻す。
炭酸ガス施用		10月～2月	炭酸ガス発生装置	1	15	15		・施設を加温する時期に合わせて施用を開始。 ・外気濃度400ppmを下回らないように施用。 ・花芽や草姿の様子を観察し、生育状況に合わせて施用を心がける。
電照管理		11月～1月	電照装置	1	2	2		・深夜4時間の電照 ・電照は前作の収穫後半から開始する。 ・消灯時の草丈の目安は50cm程度とする。
温度管理		11月～3月	暖房機 ヒートポンプ	1	24	24	重油 8002 電気 19,966kw	・株の整理後、最低温度を消灯前まで14℃、消灯～発蕾までを16℃、その後収穫までを14℃で管理する。 ・昼温は25℃を目安に換気する。
ジベレリン処理		12月	動力噴霧機	2	3	6		・株の整理後の加温開始時に50ppmを120リットル/10a散布する。
整枝		12月		4	24	96		・茎長が15～20cmで整枝。(古株を整理)
追肥		12月		1	2	2	肥料	・整枝後と消灯2週間後に分けて施用する。 ・窒素、リン酸、加里 各6kg×2
灌水	頭上灌水、点滴灌水	12月～3月		1	8	8		
摘芽、摘蕾		2月		4	60	240		
ビーナイン散布		2月	動力噴霧機	1	6	6		・発蕾期、摘蕾期に各1,000倍液を、100リットル/10a茎葉上部に散布。
収穫、出荷		3月	自動選花 結束機 軽トラック	4	44	176		
病虫害防除		12月～3月	自走式防除機、動力噴霧器	1	15	15		・県病虫害防除基準による。
後かたづけ		3月	軽トラック	2	16	32		
計						1,250		

3-2. 技術体系

(秋ギク12月・4月出荷型 二度切り栽培)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
採穂		8月		2	8	16		・50,000本採穂
穂冷蔵		8月	冷蔵庫	1	4	4		・2～3℃で冷蔵
定植準備	土壌消毒 耕うん 整地 基肥施用 ネット設置 支柱設置	8月	土壌消毒機 管理機 トラクター 耕うん機	4	13	52	堆肥3t 苦土石灰 100kg フラワーネット 800m 支柱840本	・窒素、リン酸、加里 各15kg ・フラワーネット 13.5cmの5目
定植	直挿し	9月		4	20	80	穂 45,000本	・中1目あけて4条植え、1目に2本植え
べたがけ設置		9月		2	2	4	石灰マルチ	・べたがけ前に灌水を十分行う。
べたがけ除去		9月		2	2	4		・活着後(7～10日)、べたがけを除去する。
電照管理		9月～11月	電照装置	1	2	2	LED 140個	・電球型LEDを使用 ・深夜4時間の電照 ・消灯は定植後50日目を目安とし、消灯後12～13日目から3日程度の再電照を行う。
温度管理		9月～12月	暖房機 ヒートポンプ	1	20	20	重油 0ℓ 電気 5,333kw	・消灯前は無加温、消灯後20～25日間を16℃、その後収穫までを14℃で管理する。 ・昼温は25℃を目安に換気する。
灌水	頭上、地上灌水	9月～12月	灌水同時 施肥システム	1	8	8		
追肥		10月		1	2	2	肥料	・消灯2週間前と2週間後に2回に分けて施用する。 ・窒素、リン酸、加里各6kg×2回施用
		11月		1	2	2		
ピーナイン散布		11月、12月	動力噴霧機	1	6	6		・発蕾期、摘蕾期に各1,000倍液を、100リットル/10a茎葉上部に散布。
摘芽、摘蕾		11月		4	60	240		
追肥		11月	灌水同時 施肥システム	1	1	1	肥料	・液肥で窒素、リン酸、加里各6kg施用

収穫、出荷		12月	自動選花 結束機 軽トラック	4	40	176		
病虫害防除		9月～12月	自走式防除機、動力噴霧機	1	15	15		県病虫害防除基準による。
株整理		12月		1	16	16		・地際から5cm程度に切り戻す。
炭酸ガス施用		10月～3月	炭酸ガス発生装置	1	18	18		・施設を加温する時期に合わせて施用を開始。 ・外気濃度400ppmを下回らないように施用。 ・花芽や草姿の様子を観察し、生育状況に合わせて施用を心がける。
電照管理		12月～2月	電照装置	1	2	2		・深夜4時間の電照 ・電照は前作の収穫後半から開始する。 ・消灯時の草丈の目安は50cm程度とする。
温度管理		1月～4月	暖房機 ヒートポンプ	1	24	24	重油 700l 電気 14,733kw	・株の整理後、最低温度を消灯前まで14℃、消灯～発蕾までを16℃、その後収穫までを14℃で管理する。 ・昼温は25℃を目安に換気する。
ジベレリン処理		1月	動力噴霧機	2	3	6		・株の整理後の加温開始時に50ppmを120リットル/10a散布する。
整枝		1月		4	24	96		・茎長が15～20cmで整枝。(古株を整理)
追肥		1月		1	2	2	肥料	・整枝後と消灯2週間後に分けて施用する。 ・窒素、リン酸、加里 各6kg×2
灌水	頭上灌水、点滴灌水	12月～4月		1	8	8		
摘芽、摘蕾		3月		4	60	240		
ピーナイン散布		3月	動力噴霧機	1	6	6		・発蕾期、摘蕾期に各1,000倍液を、100リットル/10a茎葉上部に散布。
収穫、出荷		4月	自動選花 結束機 軽トラック	4	40	176		
病虫害防除		1月～4月	自走式防除機、動力噴霧器	1	15	15		・県病虫害防除基準による。
後かたづけ		4月	軽トラック	2	16	32		
計						1,273		

3-3. 技術体系

(秋ギク1月・5月出荷型 二度切り栽培)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
採穂		9月		2	8	16		・50,000本採穂
穂冷蔵		9月	冷蔵庫	1	4	4		・2～3℃で冷蔵
定植準備	土壌消毒 耕うん 整地 基肥施用 ネット設置 支柱設置	9月	土壌消毒機 管理機 トラクター 耕うん機	4	13	52	堆肥3t 苦土石灰 100kg フラワーネット 800m 支柱840本	・窒素、リン酸、加里 各15kg ・フラワーネット 13.5cmの5目
定植	直挿し	10月		4	20	80	穂 45,000本	・中1目あけて4条植え、1目に2本植え
べたがけ設置		10月		2	2	4	石灰マルチ	・べたがけ前に灌水を十分行う。
べたがけ除去		10月		2	2	4		・活着後(7～10-日)、べたがけを除去する。
電照管理		10月～12月	電照装置	1	2	2	LED 140個	・電球型LEDを使用 ・深夜4時間の電照 ・消灯は定植後50日目を目安とし、消灯後12～13日目から3日程度の再電照を行う。
温度管理		10月～1月	暖房機 ヒートポンプ	1	24	24	重油 300ℓ 電気 12,133kw	・消灯前を14℃、消灯後20～25日間を16℃、その後収穫までを14℃で管理する。 ・室温は25℃を目安に換気する。
灌水	頭上、地上灌水	10月～1月	灌水同時施肥システム	1	8	8		
追肥		11月		1	2	2	肥料	・消灯2週間前と2週間後に2回に分けて施用する。 ・窒素、リン酸、加里各6kg×2回施用
		12月		1	2	2		
ビーナイン散布		12月、1月	動力噴霧機	1	6	6		・発蕾期、摘蕾期に各1,000倍液を、100リットル/10a茎葉上部に散布。

摘芽、摘蓄		12月		4	60	240		
追肥		12月	灌水同時施肥システム	1	1	1	肥料	・液肥で窒素、燐酸、加里各6kg施用
収穫、出荷		1月	自動選花結束機 軽トラック	4	44	176		
病害虫防除		10月～1月	自走式防除機、動力噴霧機	1	15	15		・県病害虫防除基準による。
株整理		1月		1	16	16		・地際から5cm程度に切り戻す。
炭酸ガス施用		10月～4月	炭酸ガス発生装置	1	21	21		・施設を加温する時期に合わせて施用を開始。 ・外気濃度400ppmを下回らないように施用。 ・花芽や草姿の様子を観察し、生育状況に合わせて施用を心がける。
電照管理		1月～3月	電照装置	1	2	2		・電球 深夜4時間 ・電照は前作の収穫後半から開始する。 ・消灯時の草丈の目安は50cm程度とする。
短日処理	シェード	3月～5月	シェード装置	1	2	2		・消灯後、短日処理を11時間日長で管理する。 ・シェードは夜間解放する。
温度管理		2月～5月	暖房機 ヒートポンプ	1	24	24	重油 200l 電気 9,433kw	・株の整理後、最低温度を消灯前まで14℃、消灯～発蓄までを16℃、その後収穫までを14℃で管理する。 ・昼温は25℃を目安に換気する。
ジベレリン処理		1月	動力噴霧機	2	3	6		・株の整理後の加温開始時に50ppmを120リットル/10a散布する。
整枝		2月		4	24	96		・茎長が15～20cmで整枝。(古株を整理)
追肥		2月		1	2	2	肥料	・整枝後と消灯2週間後に分けて施用する。 ・窒素、燐酸、加里 各6kg×2
灌水	頭上灌水、点滴灌水	1月～5月		1	8	8		
摘芽、摘蓄		4月		4	60	240		
ピーニン散布		4月	動力噴霧機	1	6	6		・発蓄期、摘蓄期に各1,000倍液を、100リットル/10a茎葉上部に散布。
収穫、出荷		5月	自動選花結束機 軽トラック	4	44	176		
病害虫防除		2月～5月	自走式防除機、動力噴霧器	1	15	15		・県病害虫防除基準による。
後かたづけ		5月	軽トラック	2	16	32		
計						1,282		

3-4. 技術体系

(秋ギク2月出荷型)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
採穂		10月		2	8	16		・50,000本採穂
穂冷蔵		10月	冷蔵庫	1	4	4		・2～3℃で冷蔵
ビニール被覆		10月		4	6	24	ビニール 1000m ²	・5年間使用
内張カーテン		12月		4	5	20	ポリフィルム 1000m ²	
定植準備	耕うん 整地 基肥施用 ネット設置 支柱設置	11月	トラクター 耕うん機	4	12	48	堆肥3t 苦土石灰 100kg フラワーネット 800m 支柱840本	・窒素、リン酸、加里 各15kg ・フラワーネット 13.5cmの5目
寒冷紗被覆		11月		2	2	4		
定植	直挿し	11月		4	20	80	穂 45,000本	・中1目あけて4条植え、1日に2本植え
べたがけ設置		11月		2	2	4	石灰マルチ	・べたがけ前に灌水を十分行う。
べたがけ除去		11月		2	2	4		・活着後(7～10日)、べたがけを除去する。
寒冷紗除去		11月		2	2	4		・ポリ除去後、数日おいて取り除く。
炭酸ガス施用		10月～1月	炭酸ガス発生装置	1	13	12		・施設を加温する時期に合わせて施用を開始。 ・外気濃度400ppmを下回らないように施用。 ・花芽や草姿の様子を観察し、生育状況に合わせた施用を心がける。
電照管理		11月～12月	電照装置	1	2	2	LED 140個	・電球型LEDを使用 ・深夜4時間の電照 ・消灯は定植後50日目を目安とし、消灯後12～13日目から3日程度の再電照を行う。
温度管理		11月～2月	暖房機 ヒートポンプ	1	24	24	重油 500ℓ 電気 17,033kw	・消灯前を14℃、消灯後20～25日間を16℃、その後収穫までを14℃で管理する。 ・昼温は25℃を目安に換気する。
灌水	頭上、地上灌水	11月～2月	灌水同時施肥システム	1	8	8		
追肥		12月		1	2	2	肥料	・消灯2週間前と2週間後に2回に分けて施用する。 ・窒素、リン酸、加里各6kg×2回施用
		1月		1	2	2		
ピーナイン散布		1、2月	動力噴霧機	1	6	6		・発蕾期、摘蕾期に各1,000倍液を、100リットル/10a茎葉上部に散布。
摘芽、摘蕾		1月		4	60	240		
追肥		1月	灌水同時施肥システム	1	1	1	肥料	・液肥で窒素、リン酸、加里各6kg施用
収穫、出荷		2月	自動選花 結束機 軽トラック	4	44	176		

病害虫防除		11月～2月	自走式防除機、動力噴霧機	1	15	15		・県病害虫防除基準による。
後かたづけ		2月	軽トラック	2	16	32		
計						728		

3-5. 技術体系

(秋ギク3月出荷型)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
採穂		10月		2	8	16		・50,000本採穂
穂冷蔵		10月	冷蔵庫	1	4	4		・2~3°Cで冷蔵
ビニール被覆		10月		4	6	24	ビニール 1000m ²	・5年間使用
内張カーテン		12月		4	5	20	ポリフィルム 1000m ²	
定植準備	耕うん 整地 基肥施用 ネット設置 支柱設置	11月中下	トラクター 耕うん機	4	12	48	堆肥3t 苦土石灰 100kg フラワーネット 800m 支柱840本	・窒素、リン酸、加里 各15kg ・フラワーネット 13.5cmの5目
寒冷紗被覆		11月		2	2	4		
定植	直挿し	11月下		4	20	80	穂 45,000本	・中1目あけて4条植え、1日に2本植え
べたがけ設置		11月下		2	2	4	石灰マルチ	・べたがけ前に灌水を十分行う。
べたがけ除去		11月中下		2	2	4		・活着後(7~10日)、べたがけを除去する。
寒冷紗除去		11月中下		2	2	4		・ポリ除去後、数日おいて取り除く。
炭酸ガス施用		10月~2月	炭酸ガス発生装置	1	15	15		・施設を加温する時期に合わせて施用を開始。 ・外気濃度400ppmを下回らないように施用。 ・花芽や草姿の様子を観察し、生育状況に合わせた施用を心がける。
電照管理		11月~12月	電照装置	1	2	2	LED 140個	・電球型LEDを使用 ・深夜4時間の電照 ・消灯は定植後50日目を目安とし、消灯後12~13日目から3日程度の再電照を行う。
温度管理		11月~3月	暖房機 ヒートポンプ	1	24	24	重油 800ℓ 電気 18,561kw	・消灯前を14°C、消灯後20~25日間を16°C、その後収穫までを14°Cで管理する。 ・昼温は25°Cを目安に換気する。
灌水	頭上、地上灌水	11月~3月	灌水同時施肥システム	1	8	8		
追肥		1月		1	2	2	肥料	・消灯2週間前と2週間後に2回に分けて施用する。 ・窒素、リン酸、加里各6kg×2回施用
		2月		1	2	2		
ピーナイン散布		2、3月	動力噴霧機	1	6	6		・発蕾期、摘蕾期に各1,000倍液を、100リットル/10a茎葉上部に散布。
摘芽、摘蕾		2月		4	60	240		
追肥		2月	灌水同時施肥システム	1	1	1	肥料	・液肥で窒素、リン酸、加里各6kg施用
収穫、出荷		3月	自動選花 結束機 軽トラック	4	44	176		

病虫害防除		11月～3月	自走式防除機、動力噴霧機	1	15	15		・県病虫害防除基準による。
後かたづけ		4月	軽トラック	2	16	32		
計						731		

3-6. 技術体系

(秋ギク10月出荷型)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
採穂		6月		2	8	16		・50,000本採穂
穂冷蔵		6月	冷蔵庫	1	4	4		・2~3°Cで冷蔵
定植準備	土壌消毒 耕うん 整地 基肥施用 ネット設置 支柱設置	6月	土壌消毒機 管理機 トラクター 耕うん機	4	13	52	堆肥3t 苦土石灰 100kg フラワーネット 800m 支柱840本	・窒素、リン酸、加里 各15kg ・フラワーネット 13.5cmの5目
寒冷紗被覆		7月		2	2	4		
定植	直挿し	7月		4	20	80	穂 45,000本	・中1目あけて4条植え、1目に2本植え
べたがけ設置		7月		2	2	4	石灰マルチ	・べたがけ前に灌水を十分行う。
べたがけ除去		7月		2	2	4		・活着後(7~10日)、べたがけを除去する。
寒冷紗除去		7月		2	2	4		・ポリ除去後、数日おいて取り除く。
電照管理		7月~8月	電照装置	1	2	2	LED 140個	・電球形LEDを使用 ・深夜4時間の電照 ・消灯は定植後50日目を目安とし、消灯後12~13日目から3日程度の再電照を行う。
短日処理	シェード	8月~10月	シェード装置	1	2	2		・消灯後、短日処理を11時間日長で管理する。 ・シェードは夜間解放する。
灌水	頭上、地上灌水	7月~10月	灌水同時施肥システム	1	8	8		
追肥		8月		1	2	2	肥料	・消灯2週間前と2週間後に2回に分けて施用する。 ・窒素、リン酸、加里各6kg×2回施用
		9月		1	2	2		
ピーナイン散布		9月	動力噴霧機	1	6	6		・発蕾期、摘蕾期に各1,000倍液を、100リットル/10a茎葉上部に散布。
摘芽、摘蕾		9月		4	60	240		
追肥		9月	灌水同時施肥システム	1	1	1	肥料	・液肥で窒素、リン酸、加里各3kg施用
収穫、出荷		10月	自動選花結束機 軽トラック	4	40	160		
病害虫防除		7月~10月	自走式防除機、動力噴霧機	1	15	15		・県病害虫防除基準による。
後かたづけ		10月	軽トラック	2	16	32		
計						638		

3-7. 技術体系 (秋ギク11月出荷型)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
採穂		7月		2	8	16		・50,000本採穂
穂冷蔵		7月	冷蔵庫	1	4	4		・2~3°Cで冷蔵
定植準備	土壌消毒 耕うん 整地 基肥施用 ネット設置 支柱設置	7月	土壌消毒機 管理機 トラクター 耕うん機	4	13	52	堆肥3t 苦土石灰 100kg フラワーネット 800m 支柱840本	・窒素、リン酸、加里 各15kg ・フラワーネット 13.5cmの5目
寒冷紗被覆		8月		2	2	4		
定植	直挿し	8月		4	20	80	穂 45,000本	・中1目あけて4条植え、1目に2本植え
べたがけ設置		8月		2	2	4	石灰マルチ	・べたがけ前に灌水を十分行う。
べたがけ除去		8月		2	2	4		・活着後(7~10日)、べたがけを除去する。
寒冷紗除去		8月		2	2	4		・ポリ除去後、数日おいて取り除く。
炭酸ガス施用		10月	炭酸ガス発生装置	1	3	3		・施設を加温する時期に合わせて施用を開始。 ・外気濃度400ppmを下回らないように施用。 ・花芽や草姿の様子を観察し、生育状況に合わせた施用を心がける。
電照管理		8月~9月	電照装置	1	2	2	LED 140個	・電球形蛍光灯を使用 ・深夜4時間の電照 ・消灯は定植後50日目を目安とし、消灯後12~13日目から3日程度の再電照を行う。
灌水	頭上、地上灌水	8月~11月	灌水同時施肥システム	1	8	8		
追肥		9月		1	2	2	肥料	・消灯2週間前と2週間後に2回に分けて施用する。 ・窒素、リン酸、加里各6kg×2回施用
		10月		1	2	2		
ピーナイン散布		10月	動力噴霧機	1	6	6		・発蕾期、摘蕾期に各1,000倍液を、100リットル/10a茎葉上部に散布。
摘芽、摘蕾		10月		4	60	240		
追肥		10月	灌水同時施肥システム	1	1	1	肥料	・液肥で窒素、リン酸、加里各6kg施用
収穫、出荷		11月	自動選花結束機 軽トラック	4	44	176		
病害虫防除		8月~11月	自走式防除機、動力噴霧機	1	15	15		・県病害虫防除基準による。
後かたづけ		11月	軽トラック	2	16	32		
計						655		

3-8. 技術体系

(秋ギク12月出荷型 短茎多収栽培)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
採穂		8月		2	9	18		・60,000本採穂
穂冷蔵		8月	冷蔵庫	1	4	4		・2～3℃で冷蔵
ビニール被覆		8月		4	6	24	ビニール 1000㎡	・5年間使用
定植準備	土壌消毒 耕うん 整地 基肥施用 ネット設置 支柱設置	8月	土壌消毒機 トラクター 耕うん機	4	13	52	堆肥3t 苦土石灰 100kg フラワーネット 800m 支柱840本	・窒素、リン酸、加里 各15kg ・フラワーネット 13.5cmの5目
寒冷紗被覆		9月		2	2	4		
定植	直挿し	9月		4	24	96	穂 55,000本	・5条植え、1目に2本植え
べたがけ設置		9月		2	2	4	石灰マルチ	・べたがけ前に灌水を十分行う。
べたがけ除去		9月		2	2	4		・活着後(7～10日)、べたがけを除去する。
寒冷紗除去		9月		2	2	4		・ポリ除去後、数日おいて取り除く。
炭酸ガス施用		10月	炭酸ガス発生装置	1	6	6		・施設を加温する時期に合わせて施用を開始。 ・外気濃度400ppmを下回らないように施用。 ・花芽や草姿の様子を観察し、生育状況に合わせて施用を心がける。
電照管理		9月～10月	電照装置	1	2	2	LED 140個	・電球形蛍光灯を使用 ・深夜4時間の電照 ・消灯は定植後50日目を目安とし、消灯後12～13日目から3日程度の再電照を行う。
温度管理		10月～12月	暖房機	1	24	24	重油 0t 電気 5,361kw	・消灯前は無加温、消灯後20～25日間を16℃、その後収穫までを14℃で管理する。 ・昼温は25℃を目安に換気する。
灌水	頭上、地上灌水	9月～12月	灌水同時施肥システム	1	8	8		
追肥		10月		1	2	2	肥料	・消灯2週間前と2週間後に2回に分けて施用する。 ・窒素、リン酸、加里各6kg×2回施用
		11月		1	2	2		
ピーナイン散布		11月、12月	動力噴霧機	1	6	6		・発蕾期、摘蕾期に各1,000倍液を、100リットル/10a茎葉上部に散布。
摘芽、摘蕾		11月		4	60	240		
追肥		12月	灌水同時施肥システム	1	1	1	肥料	・液肥で窒素、リン酸、加里各6kg施用
収穫、出荷		12月	自動選花結束機 軽トラック	4	50	200		
病害虫防除		9月～12月	自走式防除機、動力噴霧機	1	15	15		・県病害虫防除基準による。
後かたづけ		12月	軽トラック	2	16	32		
計						748		

3-9. 技術体系 (夏秋ギク6月出荷型)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
採穂		1月、2月		2	8	16		・50,000本採穂
穂冷蔵		1月、2月	冷蔵庫	1	4	4		・2~3°Cで冷蔵
定植準備	耕うん 整地 基肥施用 ネット設置 支柱設置	2月	トラクター 耕うん機	4	12	48	堆肥3t 苦土石灰 100kg フラワーネット 800m 支柱840本	・窒素、リン酸、加里 各15kg ・フラワーネット 13.5cmの5目
定植	直挿し	2月		4	20	80	穂 45,000本	・中1目あけて4条植え、1目に2本 植え
べたがけ 設置		2月		2	2	4	石灰マルチ	・べたがけ前に灌水を十分行う。
べたがけ 除去		2月		2	2	4		・活着後(7~10日)、べたがけを 除去する。
電照管理		2月~4月	電照装置	1	2	2	LED 140個	・電球型LEDを使用 ・深夜4~5時間の電照 ・消灯は4月上旬 ・消灯後11~13日後頃に3~5日 程度再電照を行う。
温度管理 (換気)		2月~5月		1	10	10		
灌水	頭上、地上 灌水	2月~6月	灌水同時 施肥シス テム	1	8	8		
追肥		3月		1	2	2	肥料	・消灯2週間前と2週間後に2回に分 けて施用する。 ・窒素、リン酸、加里各6kg×2回施用
		4月		1	2	2		
ピーナイ ン散布		4、5月	動力噴霧 機	1	6	6		・発蕾期、摘蕾期に各1,000倍液を、 100リットル/10a茎葉上部に散布。
摘芽、摘 蕾		4、5月		4	45	180		
収穫、出 荷		6月	自動選花 結束機 軽トラック	4	40	160		
病害虫防 除		2月~6月	自走式防 除機、動 力噴霧機	1	15	15		・県病害虫防除基準による。
後かたづ け		6月	軽トラック	2	16	32		
計						573		

3-10. 技術体系 (夏秋ギク7月出荷型)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
採穂		2月、3月		2	8	16		・50,000本採穂
穂冷蔵		2月、3月	冷蔵庫	1	4	4		・2～3℃で冷蔵
定植準備	耕うん 整地 基肥施用 ネット設置 支柱設置	3月	トラクター 耕うん機	4	12	48	堆肥3t 苦土石灰 100kg フラワーネット 800m 支柱840本	・窒素、リン酸、加里 各15kg ・フラワーネット 13.5cmの5目
寒冷紗被覆		3月		2	2	4		
定植	直挿し	3月		4	20	80	穂 45,000本	・中1目あけて4条植え、1目に2本 植え
べたがけ 設置		3月		2	2	4	石灰マルチ	・べたがけ前に灌水を十分行う。
べたがけ 除去		3月		2	2	4		・活着後(7～10日)、べたがけを 除去する。
寒冷紗除去		3月		2	2	4		・ポリ除去後、数日おいて取り除く。
電照管理		3月～5月	電照装置	1	2	2	LED 140個	・電球型LEDを使用 ・深夜4～5時間の電照 ・消灯は5月上～中旬。 ・消灯後11～13日後頃に3～5日 程度再電照を行う。
温度管理 (換気)		3月～5月		1	5	5		
灌水	頭上、地上灌水	3月～7月	灌水同時 施肥システム	1	8	8		
追肥		4月		1	2	2	肥料	・消灯2週間前と2週間後に2回に分 けて施用する。 ・窒素、リン酸、加里各6kg×2回施用
		5月		1	2	2		
ビーナイン 散布		6月	動力噴霧 機	1	6	6		・発蕾期、摘蕾期に各1,000倍液を、 100リットル/10a茎葉上部に散布。
摘芽、摘 蕾		6月		4	45	180		
収穫、出 荷		7月	自動選花 結束機 軽トラック	4	40	160		
病害虫防 除		3月～7月	自走式防 除機、動 力噴霧機	1	15	15		・県病害虫防除基準による。
後かたづ け		7月	軽トラック	2	16	32		
計						576		

3-11. 技術体系 (夏秋ギク8月出荷型)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
採穂		3月、4月		2	4	8		・25,000本採穂
穂冷蔵		3月、4月	冷蔵庫	1	2	2		・2～3℃で冷蔵
定植準備	耕うん 整地 基肥施用 ネット設置 支柱設置	4月	トラクター 耕うん機	4	12	48	堆肥3t 苦土石灰 100kg フラワーネット 800m 支柱840本	・窒素、燐酸、加里 各20kg ・フラワーネット 13.5cmの5目
定植	直挿し	4月		4	20	80	穂 45,000本	・中1目あけて4条植え、1目に2本 植え
べたがけ 設置		4月		2	2	4	石灰マルチ	・べたがけ前に灌水を十分行う。
べたがけ 除去		4月		2	2	4		・活着後(7～10日)、べたがけを 除去する。
電照管理		4月～6月	電照装置	1	2	2	LED 140個	・電球型LEDを使用 ・深夜4～5時間の電照 ・消灯は5月上～中旬。 ・消灯後13～15日目から3日程度再 電照を行う。
温度管理 (換気)		4月～5月		1	2	2		
灌水	頭上、地上灌 水	4月～8月	灌水同時 施肥シス テム	1	8	8		
追肥		5月		1	2	2	肥料	・消灯2週間前と2週間後に2回に分 けて施用する。 ・窒素、燐酸、加里各6kg×2回施用
		6月		1	2	2		
ビーナイ ン散布		7月	動力噴霧 機	1	6	6		・発蕾期、摘蕾期に各1,000倍液を、 100リットル/10a茎葉上部に散布。
摘芽、摘 蕾		7月		4	20	80		
収穫、出 荷		8月	自動選花 結束機 軽トラック	4	40	160		
病虫害防 除		4月～8月	自走式防 除機、動 力噴霧機	1	15	15		・県病虫害防除基準による。
後かたづ け		8月	軽トラック	2	16	32		
計						455		

3-12. 技術体系 (夏秋ギク8月出荷型 短茎多収栽培)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
採穂		3月、4月		2	5	10		・30,000本採穂
穂冷蔵		3月、4月	冷蔵庫	1	2	2		・2～3℃で冷蔵
定植準備	耕うん 整地 基肥施用 ネット設置 支柱設置	4月	トラクター 耕うん機	4	12	48	堆肥3t 苦土石灰 100kg フラワーネット 800m 支柱840本	・窒素、リン酸、加里 各20kg ・フラワーネット 13.5cmの5目
寒冷紗被覆		4月		2	2	4		
定植	直挿し	4月		4	24	96	穂 55,000本	・5条植え、1日に2本植え
べたがけ設置		4月		2	2	4	石灰マルチ	・べたがけ前に灌水を十分行う。
べたがけ除去		4月		2	2	4		・活着後(7～10日)、べたがけを除去する。
寒冷紗除去		4月		2	2	4		・ポリ除去後、数日おいて取り除く。
電照管理		4月～6月	電照装置	1	2	2	LED 140個	・電球型LEDを使用 ・深夜4～5時間の電照 ・消灯は5月上～中旬。 ・消灯後13～15日目から3日程度再電照を行う。
温度管理(換気)		4月～5月		1	2	2		
灌水	頭上、地上灌水	4月～8月	灌水同時施肥システム	1	8	8		
追肥		5月		1	2	2	肥料	・消灯2週間前と2週間後に2回に分けて施用する。 ・窒素、リン酸、加里各6kg×2回施用
		6月		1	2	2		
ピーナイン散布		7月	動力噴霧機	1	6	6		・発蕾期、摘蕾期に各1,000倍液を、100リットル/10a茎葉上部に散布。
摘芽、摘蕾		7月		4	25	100		
収穫、出荷		8月	自動選花結束機 軽トラック	4	48	192		
病害虫防除		4月～8月	自走式防除機、動力噴霧機	1	15	15		・県病害虫防除基準による。
後かたづけ		8月	軽トラック	2	16	32		
計						533		

3-13. 技術体系 (夏秋ギク9月出荷型)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
定植準備	耕うん 整地 基肥施用 ネット設置 支柱設置	5月	トラクター 耕うん機	4	12	48	堆肥3t 苦土石灰 100kg フラワーネット 800m 支柱840本	・窒素、リン酸、加里 各20kg ・フラワーネット 13.5cmの5目
寒冷紗被覆		5月		2	2	4		
定植	直挿し	5月		4	20	80	穂 45,000本	・中1目あけて4条植え、1目に2本 植え
べたがけ 設置		5月		2	2	4	石灰マルチ	・べたがけ前に灌水を十分行う。
べたがけ 除去		5月		2	2	4		・活着後(7~10日)、べたがけを 除去する。
寒冷紗除 去		5月		2	2	4		・ポリ除去後、数日おいて取り除く。
電照管理		5月~7月	電照装置	1	2	2	LED 140個	・電球型LEDを使用 ・深夜4~5時間の電照 ・消灯は5月上~中旬。 ・消灯後13日目から3日程度再電照 を行う。
温度管理 (夜間冷 房)		7月~9月	ヒートポン プ 自動カー テン	1	3	3	消費電気 5.684kw	・消灯~発蕾まで、18時~7時まで 夜温23℃で管理する。
短日処理	シェード	7月~9月	シェード 装置	1	2	2		・消灯後、短日処理を11時間日長 で管理する。 ・シェードは夜間解放する。
灌水	頭上、地上灌 水	5月~9月	灌水同時 施肥シス テム	1	8	8		
追肥		6月		1	2	2	肥料	・消灯2週間前と2週間後に2回に分 けて施用する。 ・窒素、リン酸、加里各6kg×2回施用
		7月		1	2	2		
ビーナ イン散 布		8月	動力噴霧 機	1	6	6		・発蕾期、摘蕾期に各1,000倍液を、 100リットル/10a茎葉上部に散布。
摘芽、 摘蕾		8月		4	15	60		
収穫、 出荷		9月	自動選花 結束機 軽トラック	4	40	160		
病虫害 防除		5月~9月	自走式防 除機、動 力噴霧機	1	15	15		・県病虫害防除基準による。
後かた づけ		9月	軽トラック	2	16	32		
計						436		

3-14. 技術体系 (秋ギク親株)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時間	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
(元株) 台刈り		2月	刈払機	1	2	2		・秋ギクの元株は、12月出荷の切り下株を利用
ビニール被覆(育苗、親株)		3月		3	4	12	・ビニール 500㎡	
(親株) 挿し芽床作り		4月、7月		2	4	8	・パーライト 800L ・ピートモス 400L ・育苗箱(50×35×8cm) 300箱	
採穂 挿し芽		4月、7月		2	19	38	挿し穂 25,000本	・育苗箱に100本/箱挿し芽
親株定植準備	土壌消毒 耕うん 整地 基肥施用	5月、7月	土壌消毒機 管理機 トラクター 耕うん機	3	16	48	500㎡あたり 堆肥1000kg 苦土石灰50kg	・親株床 500㎡ ・ビニールハウス ・窒素、リン酸、加里各5kg
親株定植		5月、7月		3	27	81		・15×15cm、4条植え ・畦幅60cm、通路50cm
摘心		5月、8月		2	13	26		
電照管理		5月～10月	電照装置	1	2	2	LED	・電球型LEDを使用 ・深夜4時間の電照
ビーエー剤散布		5月～9月	動力噴霧機	1	15	15	ビーエー剤	
病害虫防除		5月～10月	動力噴霧機	1	15	15		・県病害虫防除基準による。
計						247		

3-15. 技術体系 (夏秋ギク親株)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時間	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
夏ギク親株床準備	土壌消毒 耕うん 整地 基肥施用	9月	土壌消毒機 管理機 トラクター 耕うん機	2	12	24	500㎡あたり 堆肥1000kg 苦土石灰50kg	・親株床 500㎡ ・ビニールハウス ・窒素、燐酸、加里 各5kg
親株移植		9月		2	8	16	8月出荷分の 切り下株	・15×15cm、4条植え ・畦幅60cm、通路50cm
親株管理	灌水、除草	9月～4月		1	6	6		
台刈り 土寄せ		11月	刈払機 管理機	1	4	4		
ビニール 被覆		12月		2	4	8		
電照管理		3～5月	電照装置	1	2	2	LED	・電球型LEDを使用 ・深夜4時間の電照
病害虫防 除		9月～4月	動力噴霧 機	1	8	8		・県病害虫防除基準による。
計						68		

4. 品目の作付体系 (△直挿し、□出荷)

品目(作型)	施設	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
秋ギク1月・5月出荷 (二度切り栽培)	低コスト 耐候性ハウス	□				□					△		
秋ギク9月出荷						△				□			
秋ギク12月・4月 出荷(二度切り栽培)	低コスト 耐候性ハウス				□					△			□
夏秋ギク8月出荷					△				□				
秋ギク11月・3月 出荷(二度切り栽培)	低コスト 耐候性ハウス			□					△			□	
夏秋ギク7月出荷				△					□				
秋ギク10月出荷	連棟補強 ハウス							△			□		
秋ギク2月出荷		□										△	
夏秋ギク6月出荷			△						□				
秋ギク11月出荷	連棟補強 ハウス								△			□	
秋ギク3月出荷					□								△
夏秋ギク8月出荷 (短茎多収栽培)	連棟補強 ハウス					△			□				
秋ギク12月出荷 (短茎多収栽培)										△			□

3) 秋ギク1月・5日出荷型 二度切り栽培

採種	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計						
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下							
採種																									16						
種育苗																									4						
定植準備																									4						
定植																									52						
べたかけ設置																									80						
べたかけ除去																									4						
電照管理																									4						
温度管理	2	2	2																						2						
灌水	1	1																							24						
追肥																									8						
追肥																									2						
ピーナズ散布	3																								6						
摘芽・摘蕾																									240						
収穫・出荷	88	88																							176						
病害虫防除	2	1																							15						
採葉																									16						
収穫ガス施用	1	1	1	1	1	1	1	1	1																21						
電照管理																									2						
短日処理																									2						
温度管理	2	2	1	2	1	2	1	2	1	2															24						
ジベレリン処理																									6						
整枝																									96						
追肥																									2						
灌水	1	1	1	1	1	1	1	1	1																8						
摘芽・摘蕾																									240						
ピーナズ散布																									6						
収穫・出荷																									176						
病害虫防除																									15						
後かたづけ																									32						
計	12	96	115	38	37	37	6	5	5	89	84	88	92	92	32	0	0	0	24	6	42	91	9	4	8	5	4	89	89	85	1,282
月計	223				112		16			259					216						72					104	17				263

4) 秋ギク2月出荷型

採種	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計								
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下									
採種																									16								
種育苗																									4								
定植準備																									4								
定植																									24								
べたかけ設置																									20								
べたかけ除去																									24								
電照管理																									20								
温度管理																									48								
灌水																									4								
追肥																									4								
追肥																									80								
ピーナズ散布	2																								4								
摘芽・摘蕾	80	80	80																						4								
収穫・出荷																									4								
病害虫防除	2	1	1	2	1																				12								
後かたづけ	86	91	84	8	92	90	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	49	7	39	95	9	8	28	5	1	1	1	32			
計	261			190		32				0					95						0	0				112					38	728	
月計																																	

5) 秋・キウ3出荷型

品目・作業/月・旬	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計				
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下					
授種																													
穂冷蔵																													
バニール整覆																									16				
内張バニール																									4				
定植準備																									24				
寒冷紗被覆																									20				
定植																									48				
べたかけ設置																									80				
べたかけ除去																									4				
葉冷効除去																									4				
炭酸ガス施用																									4				
電照管理																									15				
温度管理																									2				
灌水																									24				
追肥																									2				
追肥																									2				
バニール散布																									2				
摘草・摘蕾																									6				
追肥																									240				
収穫・出荷																									1				
病害虫防除																									176				
後かたづけ																									2				
計	5	8	4	85	92	84	7	91	88	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	33	7	23	126	29	9	6	32
月計	17			261				32						0				0		35				156		44			731

6) 秋・キウ10出荷型

品目・作業/月・旬	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計				
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下					
授種																													
穂冷蔵																													
定植準備																													
寒冷紗被覆																													
定植																													
べたかけ設置																													
べたかけ除去																													
葉冷効除去																													
炭酸ガス施用																													
電照管理																													
温度管理																													
灌水																													
追肥																													
追肥																													
バニール散布																													
摘草・摘蕾																													
追肥																													
収穫・出荷																													
病害虫防除																													
後かたづけ																													
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	87	84	84	84	82	32	0	0	0	0	0	0	638
月計											72		103		10	255		198											

7) 秋ギク11月出荷型

品目・作業ノ月・旬	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計	
	上	中	上	中	上	中	上	中	上	中	上	中	上	中	上	中	上	中	上	中	上	中	下	下		
探穂													6	5	5										16	
穂刈蔵													2	1	1										4	
定圃準備													16	36											52	
葉沓紗被覆													4												4	
定圃													80												80	
べたかけ設置													4												4	
べたかけ除去															4										4	
葉沓紗除去																									3	
炭酸ガス施用													1				1			1					3	
電照管理													1				1			1					3	
灌水													1				1			1					3	
追肥													1				1			1					3	
バーナー散布													3				3			3					6	
摘葉・摘蕾													80				80			80					240	
追肥																									1	
収穫・出荷															2	1	1		2	1	2				176	
病害虫防除																						2			15	
後かたづけ														24	6	42				2	88	85	91	90	32	
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	6	42	92	6	5	3	4	2	88	85	91	90	32
月計													72			103		9		268					655	

8) 秋ギク12月出荷型/短茎多収

品目・作業ノ月・旬	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計			
	上	中	上	中	上	中	上	中	上	中	上	中	上	中	上	中	上	中	上	中	上	中	下	下				
探穂																									18			
穂刈蔵																	6	6							4			
バーナー散布																	2	1							4			
定圃準備																	24								24			
葉沓紗被覆																20									52			
定圃																	4								4			
べたかけ設置																	96								96			
べたかけ除去																									4			
葉沓紗除去																									4			
炭酸ガス施用																									4			
炭酸ガス施用																									4			
電照管理																									6			
温照管理																									2			
灌水																									8			
追肥																	1			2					24			
追肥																	1			1					8			
バーナー散布																									2			
摘葉・摘蕾																									240			
追肥																									1			
収穫・出荷																	2	2		2	1				15			
病害虫防除																									32			
後かたづけ																									32			
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	100	3	17	8	7	86	91	85	111	106	32
月計													72			98		107		32					748			

9) 夏秋ギク7月出荷型

品目・作業/月・旬	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計																				
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下																					
採種																								16																					
種冷蔵																								4																					
定植準備																								48																					
定植																								80																					
べたがけ設置																								4																					
べたがけ除去																								4																					
電照管理																								2																					
温度管理(換気)																								10																					
灌水																								8																					
追肥																								2																					
追肥																								2																					
ピーナイン散布																								6																					
摘芽・摘蕾																								180																					
収穫・出荷																								160																					
病害虫防除																								15																					
後かたづけ																								32																					
計	0	0	3	34	119	6	3	5	2	5	44	47	33	45	31	83	81	32	0	0	0	0	0	573																					
月計																								109	96	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

10) 夏秋ギク7月出荷型

品目・作業/月・旬	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計																				
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下																					
採種																								16																					
種冷蔵																								4																					
定植準備																								48																					
定植																								80																					
定植																								4																					
べたがけ設置																								4																					
べたがけ除去																								4																					
葉冷紗除去																								2																					
電照管理																								5																					
温度管理(換気)																								8																					
灌水																								2																					
追肥																								2																					
追肥																								2																					
ピーナイン散布																								6																					
摘芽・摘蕾																								180																					
収穫・出荷																								160																					
病害虫防除																								15																					
後かたづけ																								32																					
計	0	0	0	0	0	5	34	121	9	3	5	1	4	3	3	66	62	64	83	81	32	0	0	576																					
月計																								10	192	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

11) 夏秋ギク8月出荷型

品目・作業/月・旬	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計																				
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下																					
採種																								8																					
種冷蔵																								2																					
定植準備																								48																					
定植																								0																					
定植																								80																					
べたがけ設置																								4																					
べたがけ除去																								4																					
葉冷紗除去																								0																					
電照管理																								0																					
温度管理(換気)																								2																					
灌水																								2																					
追肥																								2																					
追肥																								2																					
ピーナイン散布																								6																					
摘芽・摘蕾																								180																					
収穫・出荷																								160																					
病害虫防除																								15																					
後かたづけ																								32																					
計	0	0	0	0	0	0	0	5	29	112	4	2	5	1	3	3	9	3	36	32	24	32	81	455																					
月計																								8	145	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

12) 夏秋ギク8月出荷型短茎多収

品目・作業/月・旬	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計																				
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下																					
採種																																													
種片蔵																																													
定植準備																																													
寒冷紗被覆																																													
定植																																													
べたがけ設置																																													
べたがけ除去																																													
寒冷紗除去																																													
病害管理																																													
温度管理(換気)																																													
灌水																																													
追肥																																													
追肥																																													
ピーナイン散布																																													
摘芽・摘蕾																																													
収穫・出荷																																													
病害虫防除																																													
後かたづけ																																													
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	533																				
月計	228																						112	228																					

13) 秋ギク9月出荷型

品目・作業/月・旬	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計																				
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下																					
定植準備																																													
寒冷紗被覆																																													
定植																																													
べたがけ設置																																													
べたがけ除去																																													
寒冷紗除去																																													
病害管理																																													
温度管理(夜間冷却)																																													
短日処理																																													
灌水																																													
追肥																																													
追肥																																													
ピーナイン散布																																													
摘芽・摘蕾																																													
収穫・出荷																																													
病害虫防除																																													
後かたづけ																																													
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	436																				
月計	147																						10	197																					

14) 秋ギク親株

品目・作業/月・旬	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計																				
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下																					
(元株)合割り																																													
ピーナール被覆																																													
(育苗・親株)																																													
(親株)出し芽床作り																																													
親株出し芽																																													
親株定植準備																																													
親株定植																																													
摘心																																													
病害管理																																													
ピーナール散布																																													
病害虫防除																																													
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	247																				
月計	82																						107	197																					

15) 夏秋ギク親株

品目・作業ノ月・旬	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計	
	上	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上		中
夏ギク親株生産準備																										24
親株移植																										16
親株管理																										6
台刈刈取寄せ																										4
七二一処理																										8
電照管理																										2
病害虫防除																										8
計	0	0	1	0	0	2	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	12	12	18	0	0	2	0	0	9
月計				2				3		0				0				42		2						68

6. 総労働時間

総労働時間	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計												
	上	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上		中	下										
総労働時間	171	303	333	325	492	383	375	551	309	364	508	383	224	261	245	217	194	183	397	257	242	577	288	234	391	340	227	521	333	335	563	494	418	516	450	274	12,672
うち家族労働	82	135	158	147	222	165	165	244	140	160	227	185	103	126	132	114	102	98	209	138	131	302	150	121	208	179	123	261	159	161	229	202	188	230	192	130	6,019
うち常時労働	27	45	53	49	74	55	55	81	47	53	76	62	34	42	44	38	34	33	70	46	44	101	50	40	69	60	41	87	53	54	76	67	67	77	64	43	2,006
うち雇用労働	61	123	123	130	196	163	156	226	122	151	205	137	87	93	69	64	57	53	118	72	68	174	89	72	114	101	64	173	121	121	257	224	167	210	194	101	4,646